

# 市議会だより

# ごとう

第38号

平成26年2月1日発行

編集・発行  
五島市議会広報特別委員会  
五島市福江町1番1号  
TEL.0959-72-7923



## 下崎山町のヘトマト (国指定重要無形民俗文化財)

1月19日(日)下崎山地区で「ヘトマト」が行われました。

羽根つき、玉せせり、綱引きに続き、3メートルの大草履が最後に登場し、見物していた女性を次々に乗せ、担ぎ上げていました。

写真は西日本新聞社提供

### 補正予算の主な事業

- 一般質問 P2
- 委員会審査 P3
- 賛否一覧表 P8
- 議決結果 P9
- 行政調査 P10
- 編集後記 P11
- P12

12月定例会は、12月9日から12月26日までの18日間の日程で開催されました。12日から16日には、11名の議員が一般質問を行ない、17日は、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行いました。本定例会では平成25年度補正予算7件、条例等16件、議会議案1件を可決し、陳情3件、報告8件、人事案件1件、決算17件を承認しました。

12月定例会の  
あらまし

# 補正予算の主な事業

## 福江元気館解体事業 1964万2千円

福江元気館は、平成七年十二月に江川町公設小売市場として建築した施設であるが、市場利用者の減少に伴い、中央町市場と合併、公設小売市場としての用途を廃止し、平成二十一年十一月から福江元気館としてまちなかのにぎわい創出を図る目的で利用してきたが、平成二十六年三月三十一日で契約期間の満了となるため、地権者の意向を確認し協議の結果、今回解体を行う。



福江港ターミナル

するための改修を行う。

室、音楽室等があり、施設の維持管理や安全性、衛生面を考慮し、早急に全面的な屋上防水改修を行う。

三階には、普通教室、パソコン、着地型観光を進めるうえで、本市観光の新たなコーディネートシステムを確立していく必要があり、市観光交流課と五島市観光協会の連携をとるため、福江港ターミナルにおいてワンフロア化を実現

## 崎山小学校校舎屋上防水 改修事業 1225万8千円



崎山小学校校舎屋上

## 観光ワンフロア化執務室 整備事業 154万3千円

着地型観光を進めるうえで、本

市観光の新たなコーディネートシステムを確立していく必要があり、市観光交流課と五島市観光協会の連携をとるため、福江港ターミナルにおいてワンフロア化を実現

崎山小学校については、数年前から天井の雨漏りがあり、部分的な小規模施工で防止してきたが、屋上全体の防水の劣化が著しく、箇所での雨漏りが発生する状況である。

三階には、普通教室、パソコン

## 岐宿地区小学校新校舎 建設事業 1258万6千円

岐宿地区の岐宿、川原、山内の各小学校は耐震調査の結果、それぞれ改築が必要であるが、現在の児童数、また今後の児童数の推移

から三校統合を含め、今後の方策について保護者、地区住民との意見交換会を行ってきた。各地区的代表で構成された検討委員会で、三校統合し、新校舎建設の方向性が示されたため、建設予定地を岐宿中学校敷地内として、新校舎の建設を行う。

## 福江中学校吹奏楽器 整備事業 246万7千円

福江中学校吹奏楽部は、長崎県吹奏楽コンクールにおいて二年連続優秀賞を受賞し、力を伸ばしている。当該校の部員数に対し樂器が不足し、高校からの借用、修理を繰り返し活動に支障を来しているため、現在必要最小限の樂器購入を行う。



# 一般質問

# 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)



鳥 島

**問 国境離島圏の首長として国家観は**

**答 重要な国境離島をしつかりと保全したい**

**質問** 市長は国境離島圏首長であり、日本人としての国家観は。

**答弁** 水産業関係者は外国船と漁場が競合するなど難しい状況にある。本市は、我が國の領土・領海を構成する大変重要な役割があり、首長として、この重要な国境離島をしっかりと保全し、いつまでも人々が住み続けられる環境を守っていくことが、我が國の領土・領海の保全に貢献できるものと考える。



中村 康弘 議員

## 選挙違反対策についての考えは

選挙違反の温床で不透明な各施設への指導、また選挙違反につながる自宅訪問、供應接待、買収対策についてどう考えるか。

**答弁** 指定施設において不在者投票を行う場合は、選挙管理委員会が選定した者を立ち合わせる「外部立会人」を配置して、今後も公正かつ適正な実施に努めたい。また、戸別訪問、供應接待、買収は罰則が定められ、立候補者説明会でも警察による選挙違反に関する説明を行っており、今後も啓発に努めたい。

**整備改良が遅れている道路の現状認識は**

**質問** 市道上大津・鬼岳線ほか大津地区の道路、長手神社下八号線、奥浦南河原線の改良進捗状況と巡回バス運行について。

**答弁** 大津線は土地提供の課題もあり、大幅な改良が困難であるが、一部については、二十六年度に計画している。長手は二十六年度着手し、南河原線は二十六年度完了予定であり、巡回バスの運行については協議したい。

**デマンド型乗合タクシー事業での利用状況は**

**質問** 奈留島島内交通のデマンド型乗合タクシー事業での利用状況は。

**答弁** 十月から本格的に五路線で

## 日本版EMEC誘致事業の経過と今後の取り組みは

**答 県や関係機関と連携し、提案する**

**野茂勇司臣 議員**

**質問** 再生可能エネルギーの取り組みについて、日本版EMEC誘致事業の経過と今後の取り組みは。

**答弁** 本市が提案していた潮流発電の実証フィールドとして、奈留瀬戸、田ノ浦瀬戸、また浮体式洋上風力発電の実証フィールドとして桟島沖が県の候補海域として選定されている。国への応募が来年二月末までとなつており、県や関係機関と連携し、提案書の作成や実証フィールドに参入の可能性がある企業への訪問を行っている。

**奈留島港ターミナル案内業務は**

**質問** 世界遺産登録に向けて、奈留島港ターミナルでの案内業務は。

**答弁** 民間等関連団体とも連携・協議し、今以上に奈留港ターミナルのインフォメーションセンターを観光案内業務の拠点として活用ができるよう調整していくたい。



奈留島港ターミナル インフォメーションセンター

予約制デマンド型乗合タクシーを運行し、十月は運行回数三十四回、利用者数五十一人、十一月は運行回数二十四回、利用者数四十一人であった。路線として維持するには、大変厳しい状況にある。

**問 地域活性化のために  
地元業者優先の発注を  
い**

**答 どんな形か検討した**



橋本 憲治 議員

**質問** 本市の公共事業における入札参加条件として、市内に本店を置く業者を優先にし、また、下請け業者も可能な限り地元業者を使うことを定めるべきでは。

**答弁** 本市の状況にどういった形がベストなのか妙案が見つからず、引き続き検討したい。また、下請け業者を使う場合の制限として、「市内に主たる営業所を有するものの中から選定しなければならない」旨の規定を設け、可能な限り地元業者が参入できるような配慮を行っている。

**福江武家屋敷通り保存への  
取り組みは**

**質問** 福江武家屋敷ふるさと館隣の土地が、宅地開発され、石垣を撤去し、樹木が伐採される計画が

ある。景観を守るために土地の購入も含めた保存策を講じるべきで

**答弁** 当該土地の購入について検討を重ねてきたが、最終的には市が購入するのは困難と判断した。



武家屋敷通り

**問 林道中岳線及び林道佐舗坂  
ノ上線の今後の整備計画は  
と協議中**

**答 未舗装については県**

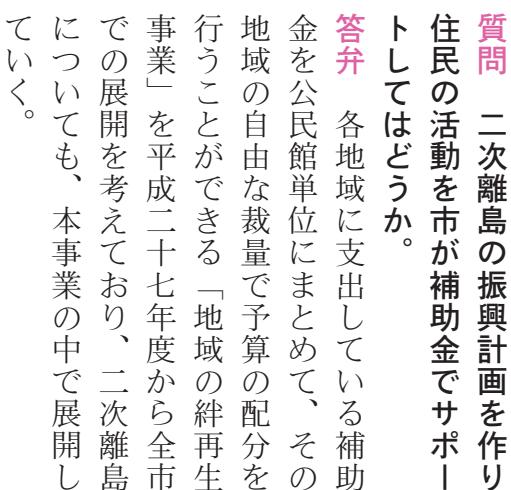


神之浦伊佐男 議員

**質問** 林道中岳線及び林道佐舗坂ノ上線について管理状況と今後の整備計画は。

**答弁** 管理状況については、大雨や台風の後は職員によるパトロールを行い、崖崩れや倒木が発生した場合は、復旧を行い、さらに現地の状況を見ながら草刈りを行っている。

今後の整備計画については、一部未舗装となっている林道中岳線を、平成二十七年度以降に生コン舗装ができるいか、県と協議中である。



豪雨時の中岳線

**牛豚の屠畜・解体状況は**

**質問** 五島食肉センター大規模改修事業に伴う牛豚の屠畜・解体状況は。

**答弁** 現在、生産者が仮設の集荷場にトラックで搬入し、輸送専用トラックに積み替え、牛は週に一回、豚は週に三回佐世保食肉センターまで輸送している。八月から十一月までの屠畜・解体数量は、牛が百五十五頭、豚が四千五百八十一頭である。

**岐宿三小学校の今後のあり方は**

**質問** 岐宿三小学校のあり方について、今後の取り組みと課題は。

**答弁** 三小学校とも耐力度調査で建て替えが必要と判断している。

今後、複式学級も予想されるため、学校長、地区公民館、小学校・保育園の保護者、また、地域住民の代表で構成する改築検討委員会と意見交換会を実施し、三つの小学校を統合して、岐宿中学校の敷地内に建設し、小中連携教育を一層推進していく計画である。

また、体育館の使用方法や通学の方法、通学路の安全確保などの課題を十分検討していただきたい。

**問** 国保の短期被保険者証の未発行の解消を

**答** 全世帯へ送付している



江川美津子 議員

**質問** 国保の短期被保険者証の未発行数が多いようだが、期限内に届くようにすべきでは。

**答弁** 国保会計の保持と税負担の公平性を保つ意味から、国保法に基づいて行っている。平成二十四年度からは、国の指導もあり、年度当初には、全世帯へ送付している。未発行とは考えていない。

見直しが予定されているため、現時点で予測することは難しい。

**質問** 第六期の介護保険制度と介護保険料の見通しは。

**答弁** 国において制度の見直しが行われており、介護予防事業などで市町村の役割が変わる。今後、詳細が判明し具体的な方策を検討したい。また、介護保険料については、制度の大きな



深い入江の岐宿白石地区

**問** 学校別成績の公表は

**答** すべての学校別公表は困難であると考える



草野 久幸 議員

**質問** 全国学力テスト学校別成績の公表を教育委員会の判断で出来るようになつたが、成績だけが注目され、ましては、小規模校を多く抱える本市は絶対公表すべきではないと思うが、市の考えは。

**答弁** 本市では、小規模校が多く、学校の平均点で個人の点が推定されたり、学力が十分でない子どもが嫌な思いをするような弊害が考えられ、特に、受験者数名の極小



全国学力学習状況調査の問題冊子

**小中一貫教育の必要性は**

**質問** 本市全域の小中一貫教育の必要性は。

**答弁** 小学校教育と中学校教育の壁が大きすぎて、中学生になつてうまく学校生活に順応できない、いわゆる中一ギャップの問題が課題となっており、全国的に小中連携や一貫教育が始まられている。

小中連携を発展させた一貫教育の効果は認識しており、先進地である呉市の事例を含めた研究を加速させていきたい。

**市の収益事業に対する考え方**

**質問** 自主財源確保のため全国の自治体は、収益事業に取り組んで、結果的に破綻したという事例も数多くあるので、やはり民間の活力をしっかりと活用したほうが

**答弁** 自治体が収益事業に取り組んで、結果的に破綻したという事例も数多くあるので、やはり民間の活力をしっかりと活用したほうがベストだと考える。

ただ、遊休資産の利活用という意味で、遊休市有地の賃貸借などを行うことは積極的に対応している。

**問** ジェネリック医薬品使用の取り組みは

用の取り組みは

**答** 差額通知サービスを開始した



相良 尚彦 議員

質問

国保財政の健全化に向けたジェネリック医薬品使用の取り組みは。

答弁

平成二十五年度から国保税の引き上げを行っているが、健全運営を行うためには、医療費の抑制が必要であり、特定健診の受診勧奨とジェネリック医薬品の普及啓発、また、今年度から新たに差額通知の取り組みも行っている。今後も関係機関と連携しながら、ジェネリック医薬品への切り替えを積極的に推進していきたい。



差額通知書

健康づくりの推進強化についての見解は

**質問** 日本一健康なしまへ向けた健康づくりの推進強化についての見解は。

**答弁** 日本一健康なしま大作戦は、特定健診を行うこと、食事改善、特に減塩対策を行うこと、スポーツの推奨を柱に地域ぐるみで健康づくりに取り組み、二百四十七町内会が参加して受診率のアップを取り組んでいる。十月末現在の受診率は三十・四%（前年比三・二%増）となっている。

本市には、千葉・金沢・長崎の三大学連携による予防医学研究所以が保健センターに設置されており、連携して今後の健康づくりの政策につなげていきたい。

福岡は空路、海路の直行便もあり成長の余地は大きい。四月の事務所開設をにらみ、五島人会の立ち上げ等、人的ネットワーク強化を図るとともに、旅行商品の造成、修学旅行誘致、物産展開催等に努めたい。

**問** 東京・福岡の営業拠点づくりは

**答** 来年四月に事務所を同時開設予定



木口 利光 議員

**質問** 五島観光・物産販売強化策としての東京・福岡での営業拠点づくりをどう進めるのか。

**答弁** 東京進出のねらいは、決定的なPR不足の解消にある。来年四月に大村市と共同事務所を開設することにより経費節減を図りつつ、観光・物産の情報発信拠点としたい。

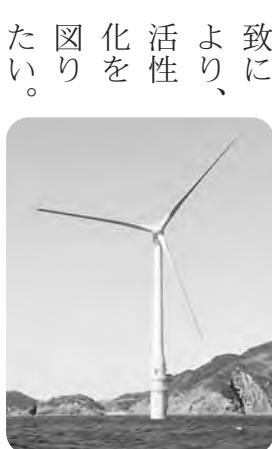
本市は、国内初の浮体式洋上風力発電商用化を目指すべきである。

**質問** 本市は、国内初の浮体式洋上風力発電商用化を目指すべきである。

**答弁** 商用化への最大の課題は発電した電力を本土へ送る基幹送電網の整備があるので、国や県に全効率で働きかけたい。

また、本市が洋上風力発電実験地に選ばれた大きな要因が、漁業者の理解にある。漁業者との共存共榮の関係づくりに最大限配慮し、洋上風力発電商用化やEMEC誘致により活性化を図りたい。

**質問** 地域おこし協力隊を商店街活性化に活用できないか



浮体式洋上風力発電実証機

策として制度強化を図りつつ、商店街活性化にも活用できないか。

**答弁** 本市では、現在五名の方が大都市圏から移住してきており、協力隊員として過疎地域活性化に活躍中であり、今後も制度強化を進めるとともに、商店街活性化等への活用も検討したい。

**答弁** 現在、本市はしま特有の五島ならではの地域の強みを活かし現地の人との交流やふれあいを提供する体験型観光で観光の再生を目指している。

また、すでに紹介されている資源についても、その見方や説明の切り口を変えるだけで、新たな価値が生まれ、新鮮な観光素材となるので、常に情報収集を行ながり、新たな観光資源の開発・掘り起こし・商品化に努めたい。

**質問** リサイクル率を高めることで予算を縮小でき、かつ、油化還元装置を導入することでA重油を生成でき自己財源の確保につながるのに、なぜ三十五億円もの莫大な予算をかけ焼却場建設をする必要があるのか。その理由と今後の計画は。

片峰亨議員

答 費用など総合的に判断し検討していく

## ごみ焼却場廃止の方向性が変わった理由は

%達成しても十五年ごとに三十万m<sup>3</sup>以上の最終処分場を約九十億円程度かけて建設する必要があると推計。今後のごみ処理の在り方にについては、ごみ処理基本計画策定委員会の中で、新たな分別を行うことによる市民の負担やごみ処理費用など、総合的に判断いただきた後、現在の焼却処理を継続するか、埋め立て方式へ転換するか、今年度末までに方針を決定したい。

**質問** ①有床診療所後の運営体制は。②施設の改修工事の予定は。  
③病院企業団企業長が掲げる目標項目について市の取り組みは。

**質問** 五島市e-むらづくりの通信ケーブル（光ファイバー）の管理状況と年間の維持費は。

通信用ケーブル（光ファイバー）の管理状況は

**答弁** 民間等関係団体とも連携・協議し、観光案内業務の拠点として、より良い活用の方法を検討していきたい。

## 奈留ターミナルの今後の利用は

通信ケーブル（光ファイバー）にかかる木の枝

**問** 自主財源の確保についての市長の考えは

**答** 最重要課題である



網本 定信 議員

**質問** 五島市の自主財源の確保について、市長の考えは。

**答弁** 合併算定替が終了し、交付税が段階的に減少していく中、行政のスリム化と自主財源の確保は、最重要課題だと考える。

農林水産業の振興策や交流人口拡大の施策などを複合的に、しっかりと積み重ね、市税徴収率の向上、使用料・手数料の見直し、遊休資産の活用などにも取り組んでいきたい。

また、交付税や国県補助金などの財源確保にも積極的に取り組んでいきたい。

## 地域間交流、国際交流についての市長の考えは

**質問** 地域間交流、国際交流についての市長の考えは。



万葉交流事業

**答弁**

地域間交流については、三井楽町で、平成十四年度から大分県の旧山国町との万葉交流事業を展開している。このように本市と共通する環境を有する地域との相互交流を通じて、お互いの理解を深め、共通の課題解決につなげていくとともに、本市が有する、しま特有の地域資源を活用し、島外からの交流人口の拡大を図りたい。

国際交流については、去る十一月三十日、海民ネットワーク九州が主催する「海民シンポジウム＆エクスカーション in 五島」が開催され、韓国の済州島関係者らが来島し、市民との交流などが行われた。このように民間や市民レベルでの相互交流を通じて、本市への交流人口の拡大につながればと考える。

地域の元気臨時交付金が計上されているが、交付金の内

**総務委員会**

**問** 地域の元気臨時交付金が計上されているが、交付金の内容は。

**文教厚生委員会**

**問** 岐宿地区小学校新校舎建設事業に関して委託料千二百五十八万六千円が計上されているが、委託先については地元業者を優先するのか。また、新校舎建築において地元産の木材を活用した木造建築ができるのか。

**答** 国の平成二十四年度補正予算に限り創設された交付金で、国庫補助金を除いた地方の負担額の九割分が交付金として入ってくる。今回確定した金額が十三億三千百六十三万七千円で、そのうち今まで予算化していた分を引いた八億九千三百六十六万五千円を、今回追加して予算を計上しており、食肉センター改修事業、福江小学校校舎改築事業、消防本部・消防署本署庁舎建設事業、まちづくり基金の四つに充当する予定である。

**答** 測量委託については、地元業者で十分対応できると思われるが、基本設計及び地質調査業務については、関係各課と協議し、地元で対応できるようであれば、地元発注を検討し、また、地元産木材の活用については、伐採から乾燥に相当な期間を要するとの話も聞いているので、

**問** 電算共同化システム導入の方法は。

**答** 個々の自治体が原則同じシステムを導入することで効率化が図られ、これにより初期導入費用や税法など法改正に伴う改修費用等が軽減される。現在、複数の事業者からの提案を受け、比較検討を行っている。

平成二十八年四月の開校を目指し、地元産木材の使用及び木造建築について、関係各課とも十分協議をし、



岐宿地区3小学校新校舎建設予定の岐宿中学校

# 委員会 分科会 の審査



問 優良繁殖雌牛群

援するための予算が計上されているが導入先についての考えは。

さらに、元気館の二階にあるフアミリーサポートセンターについては、市内にある建物の一階で駐車場が確保できる場所を検討してい  
る。

**答** 優良な繁殖雌牛の増頭及び子牛価格の上昇を目的とし、市場性の高い安福久号の母牛群の導入を推進していることから、多くの安福久号の娘牛が上場されている五島家畜市場と鹿児島県の薩摩中央市場から、それぞれ半分ずつセリの状況をみながら導入する予定である。

**問** 福江元氣館の解体に要する経費が予算計上されているが、これまでの来館者の実績と入居者の今後は。

**答** 福江元氣館の来館者数は、平成二十二年度が八千七百人、平成二十三年度が一万人、平成二十四年度が九千五百人で、月に約八百人程度の来館者であった。

また、現在、元氣館へ入居されている五軒の民間の入居者で、一軒は営業を継続するか結論が出ていないが、他の四軒については、旧福江ショッパーズでの営業を希



平成21年11月にオープンした福江元氣館

贊否一覽表

○：賛成、×：反対

## 議決結果

議案番号	件 名	議決結果	議案番号	件 名	議決結果
議案第130号	平成24年度五島市一般会計歳入歳出決算	認定	議案第161号	笠松宏有記念館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第131号	平成24年度五島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第162号	富江地域福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第132号	平成24年度五島市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第163号	デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第133号	平成24年度五島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	議案第164号	認知症対応型共同生活介護施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第134号	平成24年度五島市診療所事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第165号	生活支援ハウス及び高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第135号	平成24年度五島市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定			
議案第136号	平成24年度五島市と畜場事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第166号	产品センター鬼岳四季の里の指定管理者の指定について	原案可決
議案第137号	平成24年度五島市大浜財産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第167号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第138号	平成24年度五島市本山財産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第168号	平成25年度五島市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第139号	平成24年度五島市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第169号	平成25年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第140号	平成24年度五島市公設小売市場事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第170号	平成25年度五島市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第141号	平成24年度五島市港湾整備事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第171号	平成25年度五島市診療所事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第142号	平成24年度五島市交通船事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第172号	平成25年度五島市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第143号	平成24年度五島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第173号	平成25年度五島市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第144号	平成24年度五島市水道事業会計剰余金の処分及び決算	原案可決及び認定	議案第174号	平成25年度五島市水道事業会計補正予算(第1号)	同意
議案第153号	五島市災害派遣手当等の支給に関する条例の制定について	原案可決	議案第175号	平成25年度五島市と畜場事業特別会計歳入歳出決算	認定
議案第154号	五島市火災予防条例の一部改正について	原案可決	議案第176号	五島市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第155号	五島市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第177号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決
			議会議案第9号	特定秘密保護法案強行採決に抗議し廃止を求める意見書	原案否決
議案第156号	五島市工場等設置奨励条例の一部改正について	原案可決	陳情第10号	放課後児童デイサービス支給内容に関する陳情	結審
議案第157号	五島市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決	陳情第11号	TPP交渉にあたって「衆参農林水産委員会の決議を堅持する」ことを求める陳情	結審
議案第158号	工事請負契約の変更について	原案可決			
議案第159号	工事請負契約の変更について	原案可決	陳情第12号	住宅・店舗リフォーム助成制度の継続と予算増額を求める陳情	結審
議案第160号	工事請負契約の変更について	原案可決			

# 総務・文教厚生・経済土木委員会 行政調査を実施

総務・文教厚生・経済土木常任委員会は、二年に一度行っている先進地の行政調査を十月、十一月に実施した。

## 総務委員会

### ○地域おこし協力隊について（沖縄県沖縄市）

沖縄市においては、中心市街地の空洞化が進む中、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、それに基づき、地域おこし協力隊が中心市街地活性化の担い手として、中心市街における課題解決、また、にぎわいの創出に向けてやる気のある人を巻き込み進めている。



胡屋地区商店街で説明を受ける

地域おこし協力隊のあり方について、検討すべきである。

### ○地域通貨について（沖縄県浦添市）

本市においても、過疎化・空洞化が続いている、その中で限界集落における買い物弱者・交通弱者への地域おこし協力隊の活動とともに、先進地を参考とした商店街

本市が行っている、交流人口の拡大や経済の活性化を目的とした地域通貨とは違う、浦添市の現状にあうコミュニティ形成が目的の事業であり、参考にすべきものがあつた。

浦添市においては、那覇市の近隣であることから、人口が年々増え、人と人とのつながりが薄れており、そのつながりを強めるために協働のまちづくりの方法として地域通貨を活用している。

### ○国保事業会計の財政健全化について【ジェネリック医薬品使用の取り組み】（広島県呉市）

## 文教厚生委員会

吳市の高齢化率は、三十一%と全国の十五万人以上の都市で最も高くなっています。吳市の国保医療費は全国平均を上回る状況が続いたため、危機感を抱き、まずレセプトの電子データ化に取り組み、それを活用して、重複受診者や頻回受診者を抽出し、保健指導を行っていた。

また、レセプトデータには処方実績も含まれるため、ジェネリック医薬品を処方した場合の差額を国保加入者に通知するサービスを行い、ジェネリック医薬品に切り替える加入者が増え、平成二十四年度は医療費を約一億三千万円削減できたとのことである。

国保事業会計の財政健全化に向けての取り組みは、本市においても早急に取り組むべき課題であり、人口、財政規模の違いはあるものの全国から注目される「呉方式」は、参考にすべきものがあると思われる。



呉市保険年金課長より説明を受ける

### ○介護保険料を抑えるための介護予防施策について（兵庫県加古郡稻美町）

## 稲美町介護予防専門会議

稲美町では介護予防施策のひとつとして、「いきいき広場」事業を各自治体に委託し実施しており、高齢者が身近に集う場所を設け、閉じこもりを予防し、交流の機会を持つことで健康維持、改善を図るとともに要介護状態の予防を目的に始められた。企画から運営まですべて住民の手で行われ、お互いに地域住民としての親密性、存在感が増し、また虚弱高齢者でも、それぞれの得意分野で活躍でき、生活に張りがで、さらには、主催する自治会等のスタッフによる地域の虚弱者の発見、誘い出し、ケア等の中で介護の重度化や孤独死等の防止にもなっている。

稲美町の介護予防施策から、人口減少、少子高齢化が進行する本市を考察するに各集落、地域単位での取り組みが必要であり、しかも運営方法も地域住民の自主運営であることから、行政コスト、地域の「絆」を考えた場合にも最善の方法と思う。

# 経済土木委員会

## ○企業誘致について

(福岡県田川郡川崎町)

川崎町の「川崎デリカ」の企業誘致については、炭坑の閉山とともに多数出現した失業者の救済を目的に創設された厚生労働省所管の失業対策事業を活用し事業実施したものであった。



県の担当者からセリの状況について説明を受ける

当委員会としては今回の視察先の取り組みを参考に、企業誘致においては、誘致企業及び住民、さらには行政も有益となる体制づくりへ向けた取り組みを行っていくなければならないと再認識した。

当委員会としては今回の視察先の取り組みを参考に、企業誘致にあっては、誘致企業及び住民、さ

らには行政も有益となる体制づくりへ向けた取り組みを行っていかなければならぬと再認識した。

## ○六次産業のための鮮魚、活魚の付加価値化といそ焼け対策について

(長崎市)

長崎魚市場においては、平成二年をピークに水揚数量及び水揚高が減少傾向にあり、入港隻数も減少しており、今後も漁船の減少、魚価の低迷が続くことが懸念されていた。

誘致においては、町が建物を建設することで、企業は初期投資が不要であつたことなどから誘致の合意がなされたとのことであった。社員の雇い入れに対しては、住民の採用、さらに子育て世代の方でも短時間の就労が可能となるよう多様な就業体系を採用してもらい、住民の理解も得られているとのことであった。また、建物の増築について、受益者負担としているとのことで参考とすべき点が多くあつた。

「成人式」・「出初式」も終わり、いよいよ本格的に平成二十六年度が始まりました。今年は、本市にとりまして、大変大事な一年となります。

今後の取り組みとしては、安全・安心な水産物の安定供給と市場施設の老朽化対策を図るため、犬、猫、鳥などの侵入を防ぐ高度衛生管理型荷さばき所や岸壁等の整備を行うとともに、水産庁が策定する長崎漁港高度衛生管理計画に基づき取り組むこととしているとのことで、参考とすべき点が多くあつた。

五島市誕生十周年、そして秋にはビッグイベント「長崎がんばらんば国体」が開催されます。本市においては、剣道・軟式野球のみならず、市民総参加でお客様をおもてなしの心でお迎えし、必ず国体を成功させなければなりません。

これからも、私達広報委員会は、日々調査、研究を重ね、市民の皆様にわかりやすく、読みやすい議会だよりを発刊できるように、これからも努力してまいります。



### 議会広報特別委員会

委員長 副委員長 委員	木口 明石 野瀬	利光 博文 健一	委員 委員 委員	睦浩 中村 野茂勇司臣
-------------------	----------------	----------------	----------------	-------------------

(林 瞳浩)

## 編集後記

おります。

今回の十二月定例会にお

いて、議場に「国旗」と「市旗」が掲揚されました。改めてこの「旗」のもと、初心を忘れず、本市発展の為、全力を傾注する所存であります。

市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「成人式」・「出初式」も

終わり、いよいよ本格的に心を忘れず、本市発展の為、全力を傾注する所存であります。